

3

(月)

主の旗の下に

モーセは祭壇を築き、それを「主はわが旗」と名付けて、言った。「主の座に刃向かう手。主は代々アマレクと戦われる。」

(15、16)

4/

荒野の旅を続ける中、アマレク人がイスラエルに戦いを仕掛けてきました。モーセはヨシユアを大将に指名し、勇敢な男たちを戦場へと送り出しました。モーセは戦場が見下ろせる丘の上に登り、神の杖を手にとり、戦いの間ずっと手を挙げていました。それは当時の祈りの姿勢です。ヨシユアたちが戦っている間も、背後でモーセが熱心に神に祈っていたのです。イスラエルの勝利の秘訣は、兵士たちがどれだけ強かったかにあるのではなく、モーセたちが背後で祈っていたことによりです。その祈りに応えて、主ご自身がアマレクと戦われたのです。戦場で戦う者も背後で祈る者も、主の旗の下に一つとなつてそれぞれの働きを果たしました。ここに教会の姿があります。私たちの教会も、キリストの下に一つとなり、「主はわが旗」と告白しつつ、歩みを進める者たちでありたいと願います。